

対象モデル	Part No
RXF36 m.2 Air TTX18 29	FGxxx 361x 201x
RXF36 m.2 Air TTX18 27.5	FGxxx 361x 206x
RXF36 m.2 Coil TTX18 29	FGxxx 3617 202x
RXF36 m.2 Coil TTX18 27.5	FGxxx 3617 207x
RXF38 m.2 Air TTX18 29	FGxxx 38xx 22xx

⦿ **注意！**

保証またはサービスで必要となる場合がありますので、購入時のパッケージは保管しておいてください。

⚠ **危険！**

当製品を取り付ける前に、このマニュアルをお読みください。フロントフォークはバイクの重要な部品であり、安定性に影響を及ぼします。

⦿ **注意！**

本マニュアル内の画像は製品の概略図であり、実際の製品の外観と異なる場合がございます。

⦿ **注意！**

保管および輸送で特に高温となった場合、組立に用いたオイルおよびグリスが漏れ出し、パッケージが汚れてしまう可能性があります。これは製品に影響を及ぼすものではありません。布で余分なオイルまたはグリスをお拭きください。

Front Fork

RXF36 m.2 Air/Coil
RXF38 m.2 Air

オーナーズマニュアル/取扱説明書



安全に関して

⦿ 注意！

フロントフォークはバイクの重要な部品であり、安定性に影響を及ぼします。

⦿ 注意！

当製品を使用される前に、このマニュアルおよびバイクメーカーの技術文書に記載された情報をよく読み、理解してください。

⦿ 注意！

取付、使用、メンテナンスに関する指示が正しく守られていない場合、Öhlins Racing ABは、当フロントフォーク、バイクその他所有物への損傷または所有者の怪我に対して、一切の責任を負いかねます。

⚠ 危険！

ご購入されたÖhlins製品を取り付けたら、低速で試乗を行い、バイクの安定性が保たれていることを確認してください。

⚠ 危険！

サスペンションに異音、異常な動作、または漏れが生じている場合、直ちにバイクの走行をやめ、製品を正規Öhlins MTB 販売店舗まで返品してください。

⚠ 危険！

製品保証は、製品がこのマニュアルの推奨事項に従って操作および保守されている場合のみ適用されます。使用方法、サービス、検査および/または保守に関してご質問がある場合は、オーリンズの認定MTB販売店舗にお問い合わせください。

⦿ 注意！

当Öhlins製品を作業する際は、バイクメーカーのマニュアルを必ずお読みください。

⦿ 注意！

当マニュアルは製品の一部と見なされ、製品の寿命が来るまで製品に付随するものとします。

⦿ 注意！

当フォークを掃除する際は、高圧洗浄機またはパワーウォッシャーは使用してはいけません。

安全に関する記号

当マニュアルおよびその他の技術文書では、安全に関する重要な情報は以下の記号で分類されています：



この注意喚起の記号の意味は「危険！」です。あなたの安全に関わる内容です。

⚠ 危険！

この危険の記号は、記載された内容に従わないことで、当フロントフォークの作業、点検、使用に直接関わる人または傍観者に、重大な怪我または命に関わる怪我が生じる恐れがあることを意味しています。

⚠ 警告！

この警告の記号は、当フロントフォークに損傷が及ばないように、特段の注意が必要であることを意味しています。

⦿ 注意！

この注意の記号は、手順に関して重要な情報を意味しています。

⚠ 危険！

当製品は、特定のバイクモデル専用開発およびデザインされており、バイクメーカーから出荷された時点の状態、対象となるバイクモデルにのみ取り付けるとします。

⚠ 危険！

当製品は、加圧された構成部品を含みます。適切な教育およびツールなしに、当製品を開き、サービスし、または改造してはいけません。サービスは正規Öhlins MTB サービスセンターでのみ行われなければなりません。サービスを受けるために、当フロントフォークを他の地域に送らなければならない場合がございます。

⦿ 注意！

タンデムバイクでの使用は意図されていません。

⦿ 注意！

ライダーの体重制限は最大120 kgです。

©ÖhlinsRacing AB. 全著作権所有。Öhlins Racing ABの書面による許可なしに転載または不正使用することは禁止されています

取付方法

⚠ 危険！

当フロントフォークの取付は、ご購入頂いたオーリンズ正規販売店に依頼することを推奨します。

⚠ 危険！

バイクを作業台に取り付けてフロントフォークを取り外す際は、ペイントおよびまたは仕上げに傷がつかないように、必ずフレームで固定してください。

👁 注意！

当製品を取り付ける前に、バイク全体を掃除してください。

👁 注意！

当製品を作業する場合、具体的な手順および重要なデータに関して、バイクのサービスマニュアルを必ずご覧ください。

1

装着されているフロントフォークを取り外します。

2

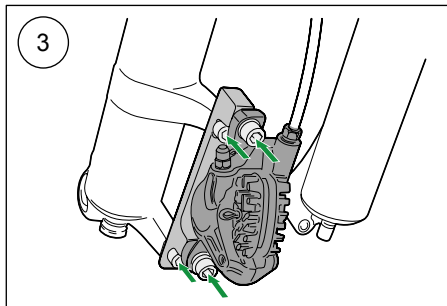
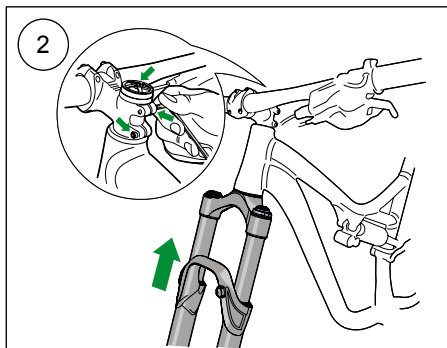
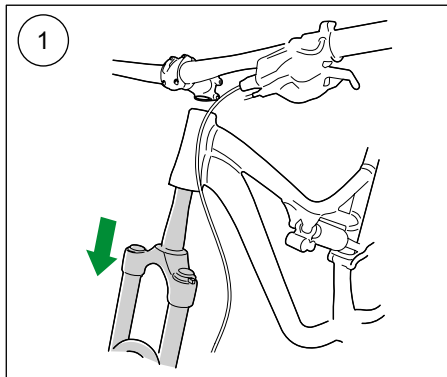
Öhlinsのフロントフォークを取り付けます。ステムメーカーの指示に従い、ステムを取り付けます。ステムの下に、スペーサーを30 mm以上追加してはいけません。

3

ブレーキメーカーの指示に従い、ブレーキキャリパーを取り付けます。最小ローター径は180 mmです。

👉 警告！

全てのボルトを指定トルク値で締め付け、サスペンションが完全に縮んだ、または伸びた状態で、フォークの動作を阻害または制限するものがないことを確かめてください。ハンドルを切った際に、フォークとフレームとの間に適切なクリアランスがあることを確かめてください。



取付方法

4

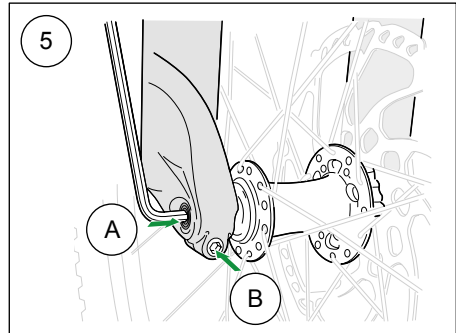
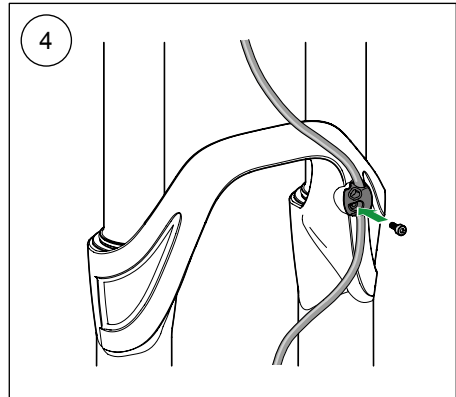
ブレーキケーブルをホースクランプに取り付け、2.5mmの六角レンチを使い、ボルトを0.5 Nmで締め付けます。

5

取り付ける前に、ネジ山にグリスを塗布します。5mmの六角レンチを使い、まずホイールシャフトのボルトAを、次にボルトBをどちらも6 Nmで締め付けます。

警告！

全てのボルトを指定トルク値で締め付け、サスペンションが完全に縮んだ、または伸びた状態で、フォークの動作を阻害または制限するものがないことを確かめてください。



サグのセッティング (AIR FORKS)

サグのセッティングは、バイクの車高およびフォークの角度を左右するため、バイクのセッティングにおいて欠かせません。

以下の章で、サグのセッティング方法を解説します。

注意！

この手順は、必ず平らな地面の上で行なってください。サグの値が不正確となることがあるため、バイクに乗った状態でジャンプしたりバウンドしたりしてはいけません。

サグのセッティング:

1

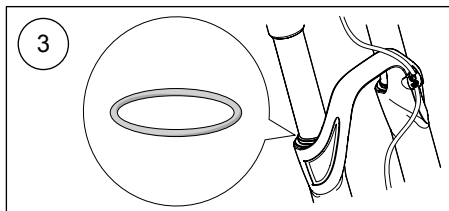
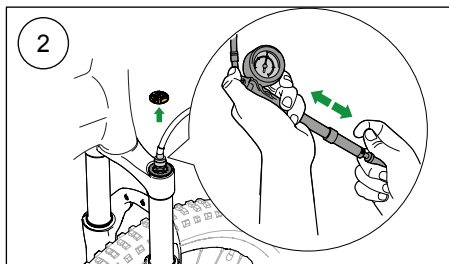
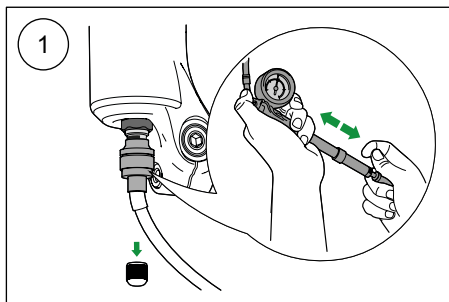
ロワーバルブ(ランプアップ チャンバー)のキャップを緩めて外し、ショックポンプを取り付けます。表の体重に合った適正な空気圧まで空気を入れたら、ポンプを取り外し、キャップを取り付けます。

2

上部にあるエアキャップ(メインチャンバー)を緩めて外し、ショックポンプを取り付けます。表の体重に合った適正な空気圧まで空気を入れたら、ポンプを取り外し、エアキャップを取り付けます。

3

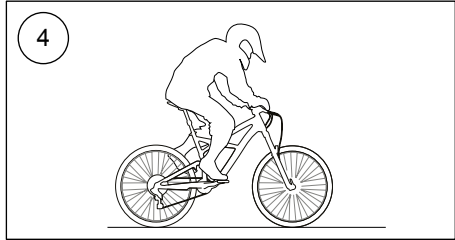
Oリング(サグ インジケーター)を図の位置にセットします。



サグのセッティング (AIR FORKS)

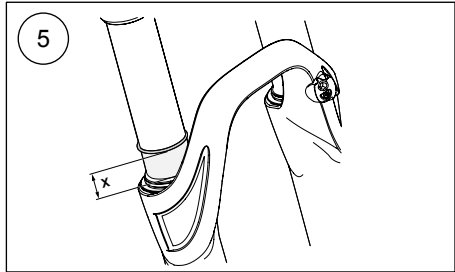
4

ライディングギアを全て身につけ、通常のライドポジションを取ります。



5

バイクから降り、Oリング(サグ インジケーター)の移動距離を測定します。
サグがフォークトラベルの約10~15%となるように設定してください。



一般的な推奨事項

- ・サグが少なすぎる場合:メインチャンバーから空気を抜いてください。
- ・サグが多すぎる場合:メインチャンバーに空気をさらに入れてください。

一般的な推奨事項:

体重が重く、攻めて走ることが多い方は、より少ないサグを必要とし、スムーズに走りたい方は、より多くのサグを必要とする場合があります。
ご不明な点がございましたら、正規Öhlins MTB 取扱店舗までお尋ねください。

RXF36 m.2 Air TTX18 29 /27.5

Rider weight	Main chamber	Ramp up chamber
50-60 kg (110-132 lbs)	80-90 psi	160-170 psi
60-70 kg (132-154 lbs)	90-100 psi	170-180 psi
70-80 kg (154-176 lbs)	100-110 psi	180-190 psi
80-90 kg (176-198 lbs)	110-120 psi	190-200 psi
90-100 kg (198-220 lbs)	120-130 psi	200-210 psi
100-110 kg (220-243 lbs)	130-140 psi	210-220 psi
110-120 kg (243-265 lbs)	140-150 psi	220-230 psi

RXF38 m.2 Air TTX18 29

Rider weight	Main chamber	Ramp up chamber
50-60 kg (110-132 lbs)	70-80 psi	160-170 psi
60-70 kg (132-154 lbs)	80-90 psi	170-180 psi
70-80 kg (154-176 lbs)	90-100 psi	180-190 psi
80-90 kg (176-198 lbs)	100-110 psi	190-200 psi
90-100 kg (198-220 lbs)	110-120 psi	200-210 psi
100-110 kg (220-243 lbs)	120-130 psi	210-220 psi
110-120 kg (243-265 lbs)	130-140 psi	220-230 psi

サグのセッティング (COIL FORKS)

サグのセッティングは、バイクの車高およびフォークの角度を左右するため、バイクのセッティングにおいて欠かせません。

以下の章で、サグのセッティング方法を解説します。

⦿ 注意!

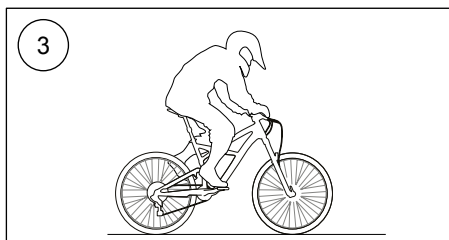
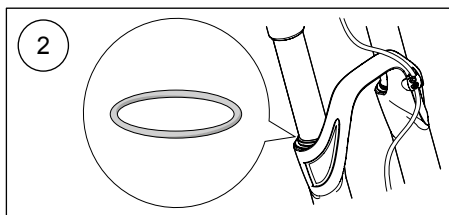
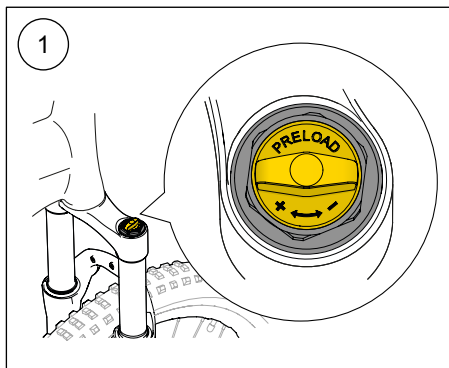
この手順は、必ず平らな地面の上で行なってください。サグの値が不正確となることがあるため、バイクに乗った状態でジャンプしたりバウンドしたりしてはいけません。

サグのセッティング:

1
プリロード アジャスターのノブをマイナスの記号に向かって、反時計回りに一番奥(プリロードが最小となるポジション)まで回します。

2
Oリング(サグ インジケーター)を図の位置にセットします。

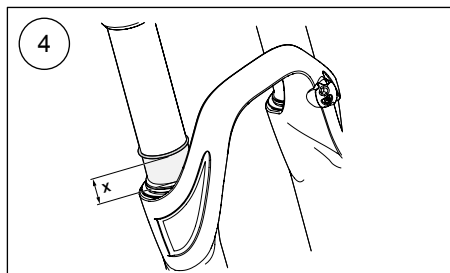
3
ライディングギアを全て身につけ、通常のライドポジションを取ります。



サグのセッティング (COIL FORKS)

4

バイクから降り、リング(サグ インジケーター)の移動距離を測定します。サグがフォークトラベルの約15~20%となるように設定してください。



一般的な推奨事項

- ・サグが少なすぎる場合：プリロードアジャスターノブをマイナス方向にクリックしてください。
- ・サグが多すぎる場合：プリロードアジャスターノブをプラス方向にクリックしてください。

一般的な推奨事項

体重が重く、攻めて走ることが多い方は、より少ないサグを必要とし、スムーズに走りたい方は、より多くのサグを必要とする場合があります。

ご不明な点がございましたら、正規Öhlins MTB取扱店舗までお尋ねください。

Spring rate [N/mm]	Tube color	Travel [mm]	Part no
6.1	Red (3x)	130-165	18651-01
7	Yellow (3x)	130-165	18651-02
7.9	Green (3x)	130-165	18651-03
8.8	Blue (3x)	130-165	18651-04
9.7	White (3x)	130-165	18651-05*
10.6	Black (3x)	130-160	18651-06
11.5	Red, Black, Red	130-160	18651-07

* Standard AM fork

👁 注意！

プリロードを増やすと、最長トラベルが短くなる場合があります。

👁 注意！

適切なサグを得るには、コイルスプリングを変更しなければならない場合があります。詳しくは、Öhlins取扱店にお尋ねください。スプリングレートは、上記の表に記載されています。

OTX18の各種アジャスター

コンプレッション ダンピングは、フォークが縮む過程で生じるエネルギーの吸収量をコントロールします。つまり、路面からの衝撃でフロントフォークが縮む速さを変更できます。

リバウンド ダンピングは、フォークが伸びる過程で生じるエネルギーの吸収量をコントロールします。つまり、路面からの衝撃で縮んだフロントフォークが元の長さまで伸びる速さを変更できます。

各種アジャスターのセッティング方法

各種アジャスターは、通常の右ねじとなっています。アジャスターを時計回りに回すと、完全に閉じたポジションとなります。反時計回りに回すと開いたポジションとなります。アジャスターが推奨ポジションになるまでのクリック音を数えます。

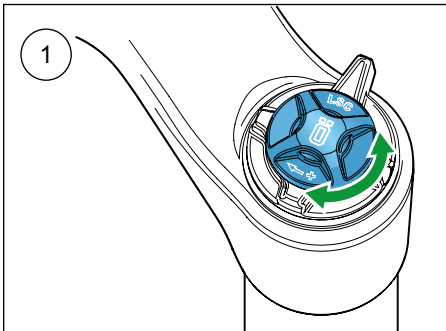
警告！

シール面は傷つきやすいため、アジャスターは手で優しく回してください。

コンプレッション ダンピングのアジャスター

1. 低速側の調整

調整には、OTXカートリッジ最上部にあるブルーのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。

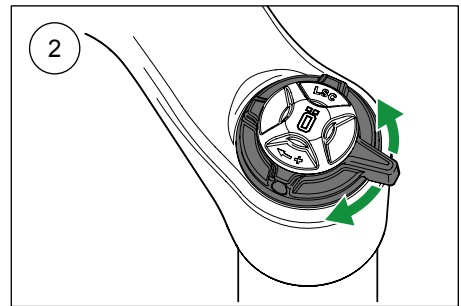


2. 高速側の調整

調整には、OTXカートリッジ最上部にあるブラックのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。プラットフォーム コントロールにセットするには、完全に閉じたポジション 0 [ゼロ]まで回します。

注意！

*ポジション 0 [ゼロ]: プラットフォーム コントロールは、長い登りでの使用を想定しているため、通常の走行では使用しないでください。通常の走行で使用すると、トラクションや衝撃吸収を十分に得られないことがあります。



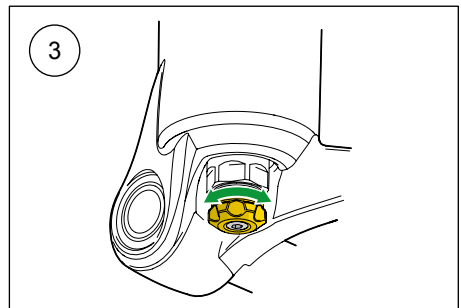
リバウンド ダンピングのアジャスター

3. リバウンドの調整

調整には、フォーク最下部にあるゴールドのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。

注意！

リバウンド アジャスターは温度変化を補正するよう設計されており、クリック数が暖かい日と寒い日で異なる場合があります。セッティングの推奨値は室温で設定されています。



セッティング

安定性とトラクション

どのバイクも、車高やフォーク角度など、サスペンションの使用を想定したジオメトリーで設計されています。構成部品を1つでも変更するとサスペンションのジオメトリーが変化し、従ってフロントエンドとリアエンドが互いに一致していることが重要です。

Öhlinsのサスペンションは、フロントフォークとリアショックの両方が適切に相互作用する場合にのみ、最高のパフォーマンスを得ることができます。その際、前後の最低地上高が指定値内にあることが重要です。

一般的なセッティング

フロントフォークの調整を試行錯誤しながら繰り返し、テストすることで、セッティングによるバイクへの影響がどのように変化するかを学ぶことができます。セッティングの際は、全ての調整箇所を推奨値にセットした状態で試乗をすることから必ず始めてください。

試乗には、急コーナーと緩やかなコーナーがあり、鋭い凹凸と細かな凹凸があるなど、特性が変化する短いルートを選びましょう。

セッティングを変更する際は、1つの項目だけを変更するようにしてください。バイクをセッティングする際は、最適化したい路面に合わせてフロントフォークも同時にセッティングしなければなりません。ただし、あらゆる路面に完璧なセッティングは存在しないため、ある程度の妥協が必要となります。

常に優先すべき事項

- ・安心感
- ・安定性
- ・快適性

以上を優先させると、体力を無駄に使わず、より安心して安全に走れるようになります。

調整域

RXF フォークは、調整域内での使用を想定して設計されており、完全に開いたまたは閉じた状態での走行が、乗る方によっては正常となる場合があります。

リバウンド ダンピング

バイクの挙動が凹凸の上で乱れたり、ジャンプで弾かれたりするなど不安定に感じる場合は、リバウンド アジャスターを閉じる方向に1クリック回します。

バイクが快適でなく、凹凸の上での動きが硬く感じ、コーナーに進入しにくく、荒れたセクションでラインを維持できない場合は、リバウンド アジャスターを開く方向に1クリック回します。

バイクの動き

- ・不安定
- ・挙動が乱れる
- ・跳ねる

→ リバウンド ダンピングを強めます

バイクの動き

- ・硬い
- ・快適でない
- ・トラクションに劣る

→ リバウンド ダンピングを弱めます

セッティング

低速コンプレッション ダンピング

低速側アジャスターは、バイクの地面に対する動きをコントロールするために用います。フロントフォークが柔らかい、またはバイクが不安定（例えばコーナー進入時）と感じる場合は、時計回りの閉じる方向に1クリック回します。バイクが硬く、トラクションに劣ると感じる場合は、反時計回りの開く方向に1クリック回します。

高速コンプレッション ダンピング

高速側アジャスターには5つのポジションがあります。アジャスターを完全に閉じた状態がポジション 0 [ゼロ]、完全に開いた状態がポジション 5です。時計回りに回すと、高速側ダンピングが強まり、フォークの動きが硬くなります。反時計回りに回すと、高速側ダンピングが弱まります。

ポジション 1～5までがトレイルライドに適しています。

ポジション 0 [ゼロ]は、トラクションの必要性が限られ、プラットフォーム コントロールによって効率性が高まる長い登りで使用します。

このフロントフォークは、アジャスターがポジション 5 (完全に開いた状態) で出荷されます。このセッティングはもっともオールラウンドであり、一般的なライダーや路面に最適です。

バイクの動き

- ・柔らかい
 - ・低い
 - ・ボトムアウトする
- コンプレッション ダンピングを強めます

バイクの動き

- ・快適でない
 - ・硬い
- コンプレッション ダンピングを弱めます

空気圧

適正な空気圧とサグはクリック数と並び、あなたの乗り方に適した最高のセッティングを見つける上で欠かせません。まずは基本的なサグ値から始め、アジャスターを調整していきましょう。ただし、アジャスターの調整で柔らかすぎるまたは硬すぎる空気圧を完全に補正することはできません。

👁 注意！

よりプログレッシブなスプリング特性をお求めの場合は、正規Öhlins MTB 取扱店舗までお尋ねください。

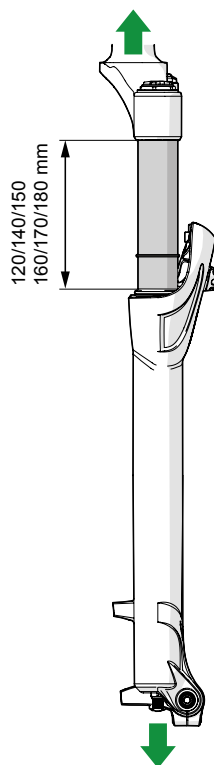
セッティング (AIR FORKS)

フォークを初期長にリセットする方法

メインチャンバーの空気圧を減らしたら、フォークを初期長にリセットさせる必要があります。

例：空気圧を130psiから80psiに落とすと、フォーク高が低くなります(トラベルが短くなる)。どなたかにホイールをしっかりと支えてもらっている間に、ハンドルバーを引上げてフォークを伸ばすことで、フォークを初期長にリセットさせることができます。フォークが初期長になるまで、この伸ばす動作を10回ほど繰り返してください。

ワイパーシールからクラウンまでの初期長：
120mm/140mm/150mm/160mm/
170 mm/180 mm



セットアップのデータ

⚠ 危険!

走行前に、基本のセッティングがセットアップの推奨値に従っていることを必ず確かめてください。いかなる変更も行う前に、当オーナーズマニュアルに記載された調整及びセッティングの章を呼んでください。

セッティングに関してご不明な点がございましたら、正規 Öhlins MTB 販売店にお尋ねください。

RXF36 m.2 TTX18			
	Rebound	15	clicks
	Compression low	15	clicks
	Compression high	3	clicks
RXF36 m.2 29 (FGXXX 361x 201x) (FGXXX 361x 202x)	Length axle to crown	570/580/590/600	mm
	Stroke	150/160/170/180	mm
RXF36 m.2 27.5 (FGxxx 361x 206x) (FGxxx 361x 207x)	Length axle to crown	550/560/570/580	mm
	Stroke	150/160/170/180	mm

メンテナンス

悪天候下での極端な走行および掃除不足により、サービス頻度が高まる場合があります。

メンテナンス	頻度
フロントフォークの土や汚れの掃除	走行ごと
空気圧の確認とサグのセッティング	走行ごと
フロントフォークの取付ボルトの締付トルクの確認	走行ごと
ロワー取り外し、プッシュとシールの掃除および点検、必要に応じてオイルバスの交換	50時間ごと
サービスセンターでのフロントフォークのエアスプリングのサービス	100時間ごとまたは1年
サービスセンターでのロワー取り外し、掃除、シールとパンブラバーの交換、オイルバスの交換	100時間ごとまたは1年
サービスセンターでのフロントフォークのダンピングカートリッジの分解組立	100時間ごとまたは1年

オーリンズMTBサスペンション サービスセンター

ダイアテック株式会社

〒603-8035 京都市北区上賀茂朝露ヶ原町10-19

TEL 075-702-7766 (平日 10:00-17:00)

●メンテナンス・修理に関しては、ご購入いただいた販売店を通してご依頼ください。



Öhlins製品は、改善と開発が継続的に行われます。従って、この取扱説明書には印刷時に公開されている最新情報が含まれていますが、マイナーアップデートが行われる場合があります。

最新情報をご覧になるには、正規Öhlins MTB 取扱店舗にお尋ねください。

この取扱説明書の内容に関してご不明な点がございましたら、正規ÖhlinsMTB 取扱店舗までお尋ねください。

Part no. 07258-07_0

Issued 2019-03-21

© Öhlins Racing AB. All rights reserved. Any reprinting or unauthorized use without the written permission of Öhlins Racing AB is prohibited.

Öhlins Racing AB
Box 722
S-194 27 Upplands Väsby, Sweden
Phone +46 8 590 025 00
fax +46 8 590 025 80



www.ohlins.com